

社会福祉法人 共栄福祉会 桜が丘保育園
令和5年度 目標・自己評価

1 施設・事業所の概要

- ①事業者名： 社会福祉法人 共栄福祉会
- ②事業所名： 桜が丘保育園
- ③所在地： 諫早市貝津町877番地1
- ④電話番号： 0957-26-2076
- ⑤福祉サービスの種別： 保育所

2 保育の計画性

【目標・取り組み】

ポジティブな声かけに努める。

主体性を尊重しながら少しずつルールを伝えていく。そのバランスを見極め、長期的に対応する。

1人ひとりにあった声かけや関わりを行い、子ども達との信頼関係を深めていけるようにする。

(調理)

目標 → 子ども達が意欲のわく食育工程を考える

- ・ルールを守ることを伝えていく。
- ・おあつまり時などは子ども達の歌いたい歌のリクエストに応え、『はたらくくるま』や『きのこ』『ありがとうの花』をライフパフォーマンス時につなげていった。
- ・6月にはリトミックを行いカエルやカタツムリの動きを真似したりして、それもライフパフォーマンスにつな

(調理)

事前に情報提供を行い当日の想像をすることで楽しみに待つことが出来た。

【課題に思ったこと】

(もも・すみれ・さくら)

- ・成長・発達に合わせた食事や睡眠等、生活リズムを整えられるよう努めた。
- ・日々の生活や業務に追われてしまうことがあり、子どもの思いに寄り添えないこともあった。
- ・子どもたち一人一人の発育に合わせて対応する中で“〇〇できるようになってほしい”と保育者の願いが強く、子どもの思いや要求を見逃してしまうこともあったと思う。
- ・未満児クラスは、こちらがある程度は仕切らないといけない部分もある為、いかに子どもの主体性を組みとってあげるべきか悩む所もあった。
- ・異年齢での交流する機会をなかなかつくれなかった。
- ・支援の必要な子はリトミックは難しかった。また、ライフパフォーマンスへの参加の難しさも感じた。

(たんぽぽ・ひまわり・ゆり)

- ・支援が必要な子どもに対しての行事の在り方について※昨年度の運動会やライフパフォーマンスでは職員の配置、保護者の対応に悩んだ。
 - ・地域との関わりが少なかった。
- (調理)
- ・食育実践前に意欲のわくような説明を工夫したい。
 - ・野菜の栽培では経過観察など子どもたちが関心をもてる助言を工夫したい
 - ・リクエストメニューではテーマをわかりやすく伝え、より想像が出来る工夫が必要だった。

3 保育のあり方・子どもへの対応

【令和5年度への目標・取り組み】

(もも・すみれ・さくら)

- ・個々の成長に合わせた生活環境を整え、子どもが安心してすごせるようにする。
- ・保育者との愛着関係を通して、まわりに目を向け身近なものへの興味や関心、探索活動が行えるようにする。
- ・子どもたちの主体性の尊重。
- ・ポジティブな声かけを行う
- ・否定的な表現や声掛けは行わない。

(たんぼぼ・ひまわり・ゆり)

- ・すぐに叱ること、禁止的用語は使用しないようにし(いいかげんにしなさい、だめなど)、子どもに考えてもらえるような言葉かけを行う努力をした。(こうやってみたらどう?など) また、上手く言えない子どもにはわかりやすく説明して関わることができた。
- ・お集まりに参加できない子どもに対しての無理に参加させるのではなく、近くで絵本を読みながら聞こえてくる歌と一緒に歌ったりして「参加している」ことを認める。
- ・子ども同士で遊びのルールやトラブルを解決していき、間違っていたり、遠まわしだとしても見守る。
- ・子どもたちがお互いに話し合い、考え、行動できるように、しっかりと話し合いが出来る環境を整える。また偏った見方をせず、子どもの話を傾聴する。
- ・トラブルに関してすぐに保育者が仲介するのではなく、まず自分たちで解決する力を育むよう見守る。

(調理)

- ・子どもの心に寄り添った食事提供時の個々の対応を見直す(偏食対応など)
- ・食事のマナーを楽しく伝える

【課題と思ったこと】

(もも・すみれ・さくら)

- ・マスクを着用した状態で関わるということがほとんどだったため、子どもたちの発語に影響がでてしまったのではないかと感じた。

※一人一人に合わせて言葉かけを行こなうとともにスキンシップをとるなど子どもたちと関わる時間を作っていても、口の動きを含めた表現を見せることができなかった。

- ・子どものやる気よりも先に保護者がしてしまうことがあったので、時間がかかっても見守りが必要だったように感じた。
- ・個別対応の難しさを感じた。（かかわり方や言葉かけの仕方等）イヤイヤ期の中でどのようなかかわり・支援が適切なのか悩むことがあった。
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
- ・保育士の共通理解が難しい。（ルールなど）
- ・子どもたちが自分たちで話し合う機会を設け、少数派の意見も保育者自身がしっかりと受け入れ、フォローをしていく必要があった。
- ・支援が必要な子どもを中心とした見方をしていたので、周りの子どもへの対応・配慮が難しかった。
（調理）
- ・テーブルマナーの伝え方・タイミングを考える。

4 保護者への対応

【目標・取り組み】

- ・ポジティブな声かけを行う
- ・もも・すみれ・さくらトークや保育参観を増やしたい。スマイルデーも企画として良かった。
- ・しかしながら個人面談は必要だと感じた。担任の負担が大きくなるので、上記の企画と併用することで負担軽減
- ・情報提供の工夫を行う

【課題とあったこと】

- （もも・すみれ・さくら）
- ・感染性の病気がでるとクラス全体に広がるため体調の変化を連絡するタイミングに悩みました。
- ・病児保育をすすめても受け入れてもらえず、体調が回復していない状態で登園し、体調不良を繰り返して迎えに来てもらうなど悪循環になることもあった。
- ・医師の診断も小児科で違うため、戸惑うこともあったが、受け入れなければならないことに葛藤の思いもあった。（子どもがきつそうにしている様子が見られる等、子ども中心に考えた時）
- ・ペーパーレスになり、アカウントから見えてなかったり伝達不足を感じる事もあった。
- ・お迎え時間が混む時間帯は直接お話できないこともあった。（職員配置の点で、玄関対応が難しかった）
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
- ・子どものケガを直接口頭で伝えることができなかった。（LINEでは報告した）
- ・電話対応が上手くいかずに、行き違いになってしまうこともあったのでしっかり確認する。
- ・指導計画の作成は行えたが、各施設との共有や意見交換、役割などの話し合いができなかった。
- ・援助が必要な子どもに対しての保護者に、親身になって寄り添えたか。
- ・発熱時の連絡対応の統一が必要であった。
- ・保護者の人が不安にならないような支援の進め方が必要であった。
（調理）
- ・昨年はレシピが1回のみ配信のため、投稿数を増やす。
- ・食事についてのアンケート等を取り、子ども達や保護者の声を聞く。

5 環境設定・整備

①令和5年9月20日 2階保育室の蛍光灯をLED電球に交換

目的：節電と有事の際に電球の飛散防止の為

②令和5年4月14日 iPad Air 購入

目的：保育のICT促進の為

③令和5年4月19日 ガス給湯器交換

目的：調理室のガス給湯器の経年劣化による交換工事

④令和5年10月30日 マキタロボットクリーナー購入

目的：以上児クラスの夕方の保育士不足による、業務負担軽減の為。

⑤令和5年3月15日 Microsoft surface購入

目的：保育のICT促進の為

⑥令和5年4月6日・6月9日・11月6日 園舎漏水修理・トイレ詰まり修繕

目的：園舎老朽化の為

⑦令和5年5月19日 2階テラス遊具修理

目的：2階テラスの遊具の劣化の為

⑧令和5年5月24日・7月4日 地下駐車場シャッター修繕・電気配線修理工事

目的：園舎老朽化の為

⑨令和5年8月16日・9月20日 調理室食洗機修理工事

目的：調理室設備老朽化の為

⑩令和5年10月30日 園庭のトレイン遊具修理

目的：園庭遊具の老朽化の為

⑪令和5年4月6日・11月21日・2月21日 主食用食器・フルーツ皿・乳幼児用食器購入

目的：主食・フルーツ・乳幼児給食提供の為の食器追加購入

⑫令和5年7月31日 生ごみ処理機購入

目的：生ごみ処理による環境配慮、農作物の肥料の為

⑬令和5年8月18日 水温計・消毒液・テスト紙・熱中症指数計

目的：水遊び・プール使用時の衛生、熱中症防止の為

⑭令和6年3月29日 プロジェクター用スクリーン購入

目的：プロジェクター使用時のスクリーン

